

くすのき

2023New year

VOL.

01

Kusunoki

くすのき再発刊 /

Leisure

病院長 ご挨拶

ご挨拶

名誉院長 / 看護部長 / 事務長

【看護部 ご紹介】

外来看護部 / 2階看護部 / 3階看護部

【コメディカル ご紹介】

放射線科 / リハビリテーション科

薬剤科 / 臨床工学科 / 栄養科

臨床検査科 / 地域医療連携室

Column

健康寿命を延ばそう

リハビリテーション科

Column

尿酸について

臨床検査科

山内病院

山内病院

一般内科
呼吸器内科
消化器内科
循環器内科
神経内科
糖尿病・
内分泌内科

救急対応

TAKE FREE

ご自由にお持ちください



るには最適の場所であると思います。今後も、病院自体の運用形態はそのままに、加えて、徳洲会グループの最大の特徴ともいえる、年中無休、24時間オープンに近づくように、院内の構造改革を進めてまいります。新型コロナの流行も3年余りの時間が経過し、実態もだいぶ明らかになってきました。重症化はあまりしないことが判明してきて、山内病院でも今までのコロナを排除する方針から、積極的に取り入れる方向に180度方針転換することとしました。まず手始めの改革としては、新年1月10日より、新たに夕方5時から7時まで、夕方の外来診療を始めます。対象は主に風邪、胃腸炎などの感染症で、帰宅途上や買い物帰りのついでに気軽に受診できるような機会を設けることを目的とし、同時に、一般診療時間も含めて、コロナ患者さんを含めた発熱患者さんへの対応にも応じる検査体制を整え、今後は入院も含めてのコロナ患者さんの受け入れを可能とします。次に、体制を整えば、夜間の2次救急患者さんの受け入れも可能とする予定です。また、4月からは、院内に透析室を新設し、他の病院で透析導入をしたものの、外来透析に移行できない患者さんを対象に入院中に透析ができる体制にしていきます。その他にも人員の確保をはじめ、取り組むべき問題は多く抱えています。ひとえに地域の住民の方々の健康を守るために、山内病院の医療資源を最大限有効に使って、何が出来るかを追求する姿勢を忘れず、日夜努力を重ねていく所存でございますので、新生山内病院に期待していただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



くすのき再発刊

2023年の新しい年のスタートに際して、今まで休刊していた山内病院の広報誌「くすのき」を再発刊することとしました。

山内病院は昨年の9月に、それまでの医療法人山内龍馬財団を解散し、新たに、医療法人徳洲会グループの72番目の病院として再出発することとなりました。旧山内病院の医療理念「謙虚な気持ちで親切、丁寧、適切な医療を行います。」を継承しながら、徳洲会の「生命だけは平等だ」のスローガンのもと、医療理念「生命を安心して預けられる病院。健康と生活を守る病院。」を実践すべく、気持ちを新たに病院運営に取り組んでまいります。藤沢駅前のこの場所は、湘南藤沢徳洲会病院にも湘南鎌倉総合病院にも近く、両徳洲会病院と連携を取

夕方診療開始のお知らせ

この度、夕方診療を開始いたします

開始日 令和5年1月10日(火)

診療時間 17:00 ~ 19:00 (16:30 ~ 18:30受付)

※基本診療は予約不要、発熱診療は要予約制となります



新たな船出のとき



名誉院長
平井 寛則

新しい年を迎えて皆様が健康であることを心から祈念いたします。この度の病院広報誌の刊行は大変意義のあることです。

本院は昨年9月から医療法人徳洲会の一員として新たに船出することになったからです。これを機に紙面も一新

し、これまでのように頓挫しないように刊行を続けたいものです。

広報誌だけでなく本院の体質も私たち職員の認識も一新しなければなりません。

徳田虎雄先生の“いつでも、どこでも、だれもが最善の医療を受けられる社会を目指す”という徳田哲学を己の魂に刻み込み医療道を地道に確実に実践していくことに真剣に取り組むべきです。

人の命と向き合う医療に携わることは、自分が選んだとしても与えられた天職であり感謝の気持ちで患者さんに接しなければなりません。医療に携わる者は人を思い遣る気持ちを持つことが医療の原点であることを忘れてはなりません。謙虚に徳田哲学の道を邁進しましょう。

チーム医療による 安心・安全なケア

藤沢駅から徒歩3分の所にある一般病棟・地域包括ケア病床・障害者病棟をもつ、99床のケアミックス型病院です。私たち看護部は「チーム医療による安心・安全なケア」をビジョ



看護部長
井上 直子

ンに掲げ、地域の皆様に寄り添う看護を目指しています。

職員教育の充実により、確かな知識と技術を習得し心を込めた信頼のある看護の提供が出来るよう努力を重ねています。あらゆる経験年数の職員が協力しながら患者さんのために何が出来るのかを考え、工夫しケアを進めています。私たちは職員一丸となって、地域の皆様に選ばれ、安心してご来院していただけるよう、患者さん一人おひとりに合わせた看護を目指し提供しています。

事務部が目指すもの



事務長
藤富 邦彦

事務部は、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源を扱う部門です。

病院の運営をしっかりサポートし、患者さんに信頼される部門を目指しています。

私たちは、「患者さんのために」をあらゆることに優先する風土と「全職員が山内病院に勤務して本当に良かった」と思える職場をつくりたい。

事務部21人は、当院を利用してくださるすべての方に感謝の気持ちを忘れず、今日も一日元気に仕事ができることに喜びを感じながら、患者さんのために、ともに働く仲間のために、生き生きと仕事をします。

本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようにお祈りいたします。

謙虚な気持ちで親切・丁寧な医療 外来看護部



当院外来業務は通常診察(内科・整形)にとどまらず、健診・内視鏡・放射線検査や整形処置・訪問診療・訪問看護など、その内容は多岐にわたります。そこに携わる外来スタッフは、「謙虚な気持ちで親切・丁寧な医療」を目指し、チーム一丸となり、一人ひとりの患者さんに寄り添ってきました。この度、徳洲会の一員となり、徳洲会理念である「生命を安心して預けられる病院」「健康と生活を守る病院」の実践に向け、今までになかった発熱診療や夕方診療などの新しい業務にチャレンジいたします。私たちは外来看護における知識・技術の向上に励み、地域の皆様から選ばれる病院を目指し、新しくスタートする所存です。

今後とも、宜しくお願いいたします。

楽しみながら日々の看護 2階看護部



一般病棟は一般急性期病床と地域包括ケア病床の2つの機能を持った病棟です。肺炎の増悪や尿路感染などにより食事がとれなくなった患者さん、急性期治療が終わった患者さん、骨折後のリハビリなど、在宅へ帰る患者さんの入院を多く受け入れています。リハビリスタッフや管理栄養士、地域医療連携室、退院支援看護師、在宅医療機関と連携し患者さんの退院支援に力を入れています。私たち看護師は、固定チームナーシングを取り入れ、小集団での強みを生かし、患者さん・ご家族に寄り添った退院支援に向けて頑張っています。

幅広い年齢層のスタッフが在籍し、楽しみながら日々の看護に取り組んでいます。

協力して最善のケアができるよう 3階看護部



障害者病棟とは、疾病などで寝たきりや肢体不自由になった方、重度の障害や意識障害のある方、筋ジストロフィーやギランバレー症候群などの神経難病をお持ちの方に対し、適切な治療およびケアを行うことが許可された病棟です。人工呼吸器管理が必要な方をはじめ、さまざまな病態の方が治療・療養することができます。比較的長く入院される患者さんが多く、生活の質の向上を目指し、リハビリスタッフと協力してケアを行っています。今現在面会制限がありますが地域連携室スタッフと協力してリモート面会を行い、患者さん、ご家族とが出来る限りコミュニケーションが持てるようにしています。病棟スタッフ皆で協力して最善のケアができるよう日々取り組んでいます。

放射線科の紹介

放射線科

山内病院放射線科の構成は常勤2名、非常勤1名です。検査機器としては一般撮影、ポータブル撮影、X線TV、CT、MRIがあります。

当院の導入している64列マルチスライスCTでは、心臓冠動脈検査、整形領域3D検査、下肢動脈3D検査などの検査を短時間で放射線被曝の少ない検査を実施しています。このマルチスライスCTはより広範囲で高画質な画像が短時間で得られ、さらに画像処理をすることで、より細かく描出した

り、精密な3D画像を作成したりできます。1.5TMRIでは、造影剤を使わず血管を描出することができます。特に脳梗塞や脳動脈瘤の検索、関節痛や腰痛などの原因検索に有用で、高い能力を発揮します。また磁気と電波を利用しているので、被曝の心配は全くありません。これらの機器を駆使し迅速かつ正確な画像の提供をし、チーム医療の一翼を担っています。また、近隣の開業医の先生方にも、これらの機器を使っただけのように連携しています。



地域で安心して暮らせるためのリハビリを リハビリテーション科

当院のリハビリテーション科は開設以来、藤沢地域で暮らしている方々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる事の支援を第一に考えて活動しています。

在籍スタッフは理学療法士4名、作業療法士1名です。

リハビリテーション介入は主治医の指示の元に、入院リハビリは地域包括病床を中心に在宅復帰を目指したリハビリの実施、外来リハビリは主に整形外科疾患を中心としたリハビリを実施しています。

リハビリが必要とされる患者さんの運動機能・認知精神機能・生活関連機能の改善のため、主治医・看護師・地域連携室職員と定期的にカンファレンスを開催し連携を図りながら業務に取り組んでいます。



Column

～健康寿命を延ばそう～

フレイルって ご存じですか？

●フレイルとは？

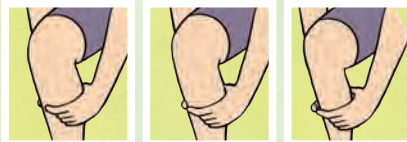
加齢とともに心身の活力(筋力・認知機能・社会とのつながり)が低下した状態をフレイル(虚弱)と言います。フレイルは病名ではありませんが、それに準ずる病気やケガを非常にしやすくなっている状態であり、そのままにしておくと要介護状態へ発展することがあるので予防が必要です。

●自分がフレイルかどうか知る方法は？

フレイルには様々な評価方法がありますが、今回は「指輪っかテスト」をご紹介します。



指輪っかでふくらはぎを囲んだ時に どうなりますか？



囲めない ちょうど囲める 隙間ができる

指輪っかを作った際に、指とふくらはぎの間に隙間ができたならフレイルの可能性ががあります。

●フレイルを予防するには？

フレイル予防にはウォーキングがおすすめです。体調に合わせて1日に2回程度、10～30分を目標に歩きましょう。途中で休憩を入れても結構です。少し息が早くなる程度、人と楽に会話ができる程度、やや汗ばみ爽快感が味わえる程度が最適です。



※運動を行う際に注意点：個人によって適切な運動量は異なります。関節の痛みや持病のある方は、間違った運動で痛みが増したり疾患が悪化してしまう場合がありますので、ご心配な方は主治医にご相談ください。

薬剤科の紹介 薬 剤 科



現在薬剤科には4人の薬剤師がおります。
日常業務としては

- 入院患者さんの内服薬、外用薬などの処方箋調剤、注射薬の準備
- 入院患者さんの持参薬確認やお薬の説明、処方確認などの薬剤管理
- 外来患者さんに使用する予定の注射薬などの準備
- 病院内の薬品在庫の定数や有効期限の管理
- 医薬品情報の発信、問い合わせに対する対応
- インフルエンザやコロナワクチンなどの準備、管理

などがあります。

毎日医師、看護師その他の院内スタッフとともに患者さんのためにより良い薬物治療が行われるように業務を行っています。

臨床工学技士って何？ 臨床工学科



臨床工学科は【臨床工学技士】という国家資格を有しています。「臨床工学技士って何？」と思われる方が多いと思いますので、簡単に説明させていただきます。

臨床工学技士は医療機器の専門医療職です。病院内で、医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。また、医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行っており、安全性確保と有効性維持に貢献しています。

当院での主な業務としては、人工呼吸器・透析・ペースメーカー・医療機器の保守管理です。

医療機器でお困りの事がありましたらご相談ください。

入院時のお食事と栄養食事指導 栄 養 科

入院時のお食事について

治療効果だけでなく、安全性・おいしさに配慮したお食事の提供をしています。



季節にあわせた料理をメニューに取り入れ、四季折々の行事にちなんだ食事を提供し、普段の食事に変化と彩りを添えています。

食事療養は継続が重要です。退院後も継続できるよう支援しています。嚥下障害のお食事の調理や栄養補助食品、経管栄養法についてもご相談をお受けしています。

栄養食事指導について

入院・外来患者さん向けに栄養相談を実施しています。指示エネルギーや栄養バランスなどを自分で管理することは非常に難しく、ご自身の好みに偏りがちですので、管理栄養士からの適切なアドバイスを受けることをお勧めいたします。担当医にご相談ください。

検査を行っている部署です!! 臨床検査科

こんにちは、臨床検査科です。

名前の通り検査を行っている部署です。私たちが行う検査は、検体検査と生理機能検査です。検体は皆様から採取した血液、尿の検査を行います。血液からは多くの情報を得ることができます。当院では主に生化学(酵素、電解質など)、血液細胞の算定、尿検査は定性検査という物質があるかないかを調べます。そして尿中の固形成分を調べる尿沈渣という検査も行っています。生理機能検査は超音波、心電図、呼吸機

能、聴力、ABIなどの検査を行っています。

検査の項目や検査そのものが何をしているかわからないことがあったらお声かけください！今後も本誌を通して検査の事を掲載しますので参考になれば幸いです。



Column

明けまして
おめでとう
ございます

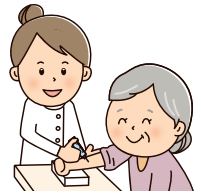


～臨床検査科～



尿酸について

今回は血液検査項目の一つである尿酸について触れたいと思います。食事によって検査結果が変わるものがあります。一時的なもの、蓄積によって変わるものがあります。尿酸はプリン体という物質の最終代謝産物です。また食事だけではなくお酒は尿酸の産生を増やす上に、排泄低下を促します。尿酸の蓄積は痛風、腎臓の機能を低下させます。年末年始に食べ過ぎてしまった方も、まだ寒い日が続きますが、水分を補給し血液中の過剰な物質を排泄してください。これからも皆様が健やかに過ごしていけるように、検査の内容等ご紹介していきたいと思ひます。最後まで読んで頂きありがとうございました。



最後に読んで頂きありがとうございました。

医療ソーシャルワーカーです!! 地域医療連携室



ご病気になった時の思いがけない心配事や今後の生活について相談をお受けするお仕事をしています。

医療・保健・福祉に関わるご相談がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。私たちが地域の医療・保健・福祉機関等と連絡をとり、お一人、おひとりの「お困り事」、「お悩み事」に丁寧に対応させていただきます。

徳洲会の一員となり、今まで以上に地域住民の方々に安心して医療が受けられるよう、病院の「相談窓口」として地域医療に貢献していきたいと考えております。



徳洲会
グループの理念



生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院

外来のご案内

午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～)
午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間13:30～)

休診

土曜午後・日曜・祝日・
年末年始

診療科のご案内

内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病・内分泌内科／呼吸器内科／神経内科／整形外科／
リハビリテーション科

人間ドック・各種健診のご案内

当健康管理・健診センターでは、健診8団体合同マニュアル「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」を遵守し、
感染防止対策を引き続き徹底し健康診断を実施しております。

随時受付中！



Access Map

- 電車・徒歩で来院される方
藤沢駅南口からダイヤモンドビルの横を歩いて徒歩3分です。
- お車で来院される方
ドン・キホーテ交差点から入り、直進してT字路を右折、正面玄関脇をご利用ください。

近隣駐車場について

外来診療、健康診断、お見舞いなどで、
当院をご利用の方に
近隣の駐車場のサービス券
をお渡しします。



ご利用
可能
駐車
場

- 1 シンクウパーク南藤沢
- 2 シンクウパーク南藤沢第二
- 3 NPC南藤沢
- 4 ショウワパーク南藤沢
- 5 ショウワパーク南藤沢2

※ご利用可能な時間帯 平日8:00～17:00/土曜日8:00～13:00
※サービス内容 最大2時間分までの駐車サービス券をお渡します。
※会計の際に、受付に駐車券もしくは駐車票・駐車証明書をご提示ください。
※公共交通機関でのご来院にご協力をお願いいたします。



医療法人徳洲会 山内病院
〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢4-6

TEL.0466-25-2216
<https://www.yamauchi.or.jp/>

